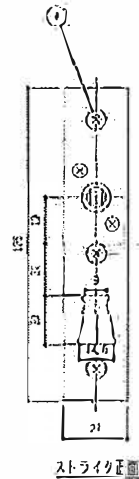
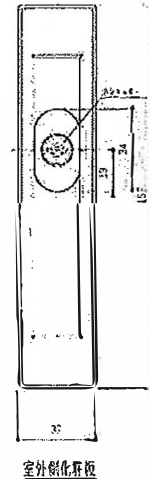


切欠きについては
取付比較図を参照ください。



「新巻紙」取替用
△「春日」

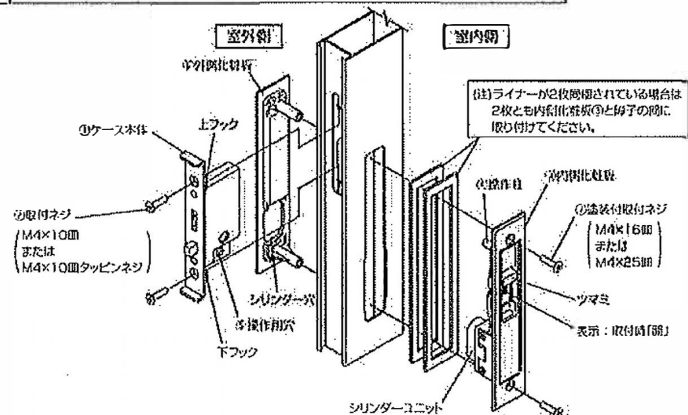
戸先錠・内締り錠取付方法

※裏面の切欠き図を確認し、必要に応じて追加加工してください。

■取付手順

- 1] ケース本体①を上下フックが降子をさき込み込むように挿入し、取付ネジ②で完全に固定してください。
※降子の種類によって、ケース本体の形状が本図と異なる場合があります。
- 2] 内側化抵板③を操作柱④がケース本体の操作穴⑤に入るように取り付けてください。
外側化抵板⑥を取り付け、塗装付取付ネジ⑦で固定してください。

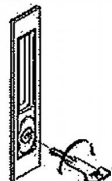
⚠ 取付ネジの締め過ぎに注意してください。インパクトドライバーは使用しないでください。
作動に支障をきたす恐れがあります。



※本図は戸先錠を示します。内締り錠はシリンダーユニットおよびシリンダー穴が違い仕様です。

■戸先錠・内締り錠の施錠・解錠方法

◆錠(戸先錠のみ)



- <1> 錠を差し込む。
- <2> 180°錠を■す。
- <3> 180°錠を回し戻す。
- <4> 錠を抜く。

錠穴の向き：◎
※施錠時と解錠時の錠穴の向きは同じになります。

(注) 召合せ錠と錠の操作方法が異なりますので、ご注意ください。

◆ツマミ

ツマミを下へおろすと錠錠、上へあげると解錠します。
ツマミの表示：施錠時「閉」、解錠時「開」
(召合せ錠と操作方法は同じです。)

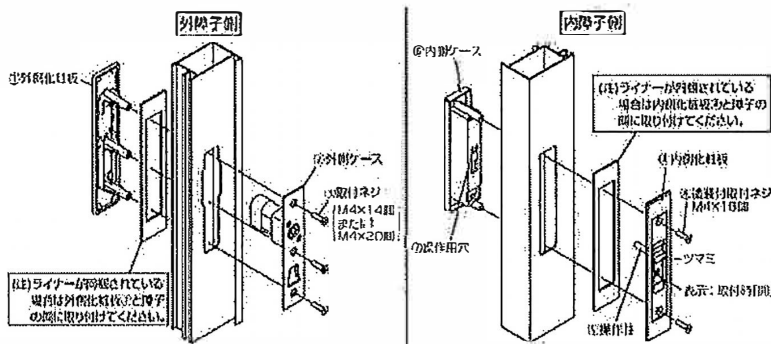
召合せ錠取付方法

※裏面の切欠き図に従って外降子に追加加工してください。

■取付手順

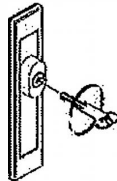
- 1] 外降子に外側化抵板①と外側ケース②を取付ネジ③で固定してください。
- 2] 内降子に内側化抵板④の操作柱⑤が内側ケース⑥の操作穴⑦に入るように取り付け、塗装付取付ネジ⑧で軽く固定してください。
※降子の種類によって、内側ケースの形状が本図と異なる場合があります。
- 3] 内外降子を閉め、錠およびツマミを動かし、錠がスムーズに作動するか確認しながら内側化抵板④の位置を調整し、塗装付取付ネジ⑧を固定してください。
(本品のみで調整できない場合は、戸車にて調整してください。)

⚠ 取付ネジの締め過ぎに注意してください。インパクトドライバーは使用しないでください。
作動に支障をきたす恐れがあります。



■召合せ錠の施錠・解錠方法

◆錠



- <1> 錠を差し、更に奥まで押し込む。(シリンダーごと引込みます)
- <2> 180°錠を回す。(シリンダーが手前に戻ります)
- <3> 錠を抜く。

錠穴の向き：◎または◎
※施錠時と解錠時の錠穴の向きは逆になります。

(注) 戸先錠と錠の操作方法が異なりますので、ご注意ください。

◆ツマミ

ツマミを下へおろすと錠錠、上へあげると解錠します。
ツマミの表示：施錠時「閉」、解錠時「開」
(戸先錠・内締り錠と操作方法は同じです。)

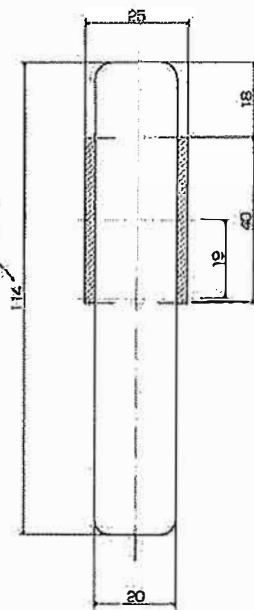
■切欠き図(追加加工)

必要に応じて既存の切欠穴に、下面斜線部を追加加工してください。

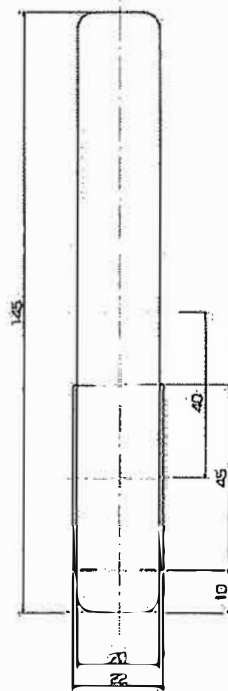
<召合せ錠> 外障子切欠き

- ・外障子側の室内側のみ追加加工が必要です。

また、外障子室内外切欠きの幅が114mm未満の場合は114mmになるよう追加加工が必要です。



<戸先錠> 室内側切欠き



切欠きの幅が22mm未満の場合は室内側のみ追加加工が必要です。

<内締り錠> 室内外切欠き

切欠きの幅が108mm程度の場合は追加加工が必要です。

